

令和7年11月7日

公立小松大学学長候補者の決定について

公立大学法人公立小松大学学長選考会議
議長 山崎 光悦

公立大学法人公立小松大学学長選考会議は、次期学長候補者を下記の通り決定しました。

記

1. 学長候補者の氏名

しむら めぐみ
志村 恵 [公立大学法人公立小松大学 理事・副学長（教育担当）]

2. 任期

令和8年4月1日～令和12年3月31日（4年）

3. 当該学長候補者の選考の理由

公立小松大学学長選考会議では、令和7年6月26日の第2回学長選考会議において、「令和7年度公立小松大学学長候補者選考実施要領」（以下、実施要領）を決定し、次期学長候補者に係る選考を開始した。7月7日付で実施要領を公表し、学長候補適任者の推薦を募ったところ、志村恵氏1名の推薦があり、9月8日の第3回学長選考会議において、推薦時に提出された推薦書、被推薦者の履歴・業績書及び所信表明書等の書類により審査の上、学長候補適任者として決定・公表した。

9月26日の第4回学長選考会議にあわせて開催した「学長候補適任者の所信を聴く会」では、学長候補適任者の志村恵氏が所信を表明するとともに、参加者との質疑応答を実施し、学長選考会議委員及び役員・職員（常勤）79名が参加した。その後、同日から10月3日まで役員及び職員の意向調査を実施し、98名からの回答を得た。11月7日の第5回学長選考会議では、学長候補適任者に対し、面接を実施するとともに、推薦時に提出された書類、所信等の説明の結果、面接の結果、学内意向調査の結果を総合的に判断し、慎重に審議した結果、本会議が定めた「公立小松大学学長選考基準」に示す資質・能力を有する適任者として、志村恵氏を次期学長候補者として決定した。

志村恵氏の公立小松大学理事・副学長（教育担当）としての約1年半の教育・研究活動と大学運営への貢献・実績を高く評価した。とりわけ、着任からわずか1年余りで、国際交流の促進、入試改革をはじめとする教育の推進、ハラスメント防止などに精力的に取り組み、成果を挙げている点

は特筆に値する。時代や社会が大きく、また急激に変化している中、同氏が掲げる明確な将来ビジョンの実現に向け、優れたリーダーシップとマネジメント能力を発揮し、大学の強みや特色を活かし、魅力ある教育・研究活動の展開を通じ、公立小松大学が、地域・世界の発展を支える「知」の拠点として、その機能をさらに強化・発展させることを期待する。

4. 選考の過程

(1) 公立小松大学学長候補者選考 実施要領 を審議・決定(令和7年6月26日)

第2回学長選考会議において公立小松大学学長候補者選考 実施要領について審議し、選考基準、選考方法、推薦要領等を決定

(2) 公立小松大学学長候補者選考 実施要領 を公表(令和7年7月7日)

学長選考基準と合わせ、学長候補者選考方法及び日程、推薦要領を公立小松大学ホームページで公表

(3) 学長候補適任者の推薦受付(令和7年7月7日～8月22日)

以下1名の推薦を受理

志村 恵 氏[公立小松大学 理事・副学長(教育担当)]

(4) 学長候補適任者の決定(令和7年9月8日)

第3回学長選考会議において、全員一致で、志村 恵氏を学長候補適任者に決定

(5) 学長候補適任者の所信を聴く会の開催(令和7年9月26日)

第4回学長選考会議にあわせて「学長候補適任者の所信を聴く会」を中央キャンパス講義室及びオンラインにて開催

- ・内容:学長候補適任者による所信の表明、質疑応答
- ・対象:学長選考会議委員及び役員、職員(常勤)
- ・参加数:79名(会場43名、オンライン36名)

(6) 学内意向調査の実施(令和7年9月26日～10月3日)

学長候補適任者の学長選考基準への合致度(期待度)を問う学内意向調査を実施

- ・対象:役員及び職員(常勤)
- ・回答数:98名(回答率77.2%)

(7) 学長候補適任者に対する面接及び選考(令和7年11月7日)

第5回学長選考会議において、学長候補適任者志村 恵氏と面接を実施し、推薦時に提出された書類、所信等の説明の結果、面接の結果、学内意向調査の結果を総合的に判断し、次期学長候補者に決定し、理事長に報告

以 上